

事業の基礎情報

実施主体	一般社団法人明和観光商社
事業実施地域	三重県多気郡明和町
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化 ・ エネルギー・環境 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	一般社団法人明和観光商社・野呂自動車有限会社・Community Mobility株式会社
運行形態	乗合タクシー・AIデマンド交通等
運行主体	一般社団法人明和観光商社・野呂自動車有限会社

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

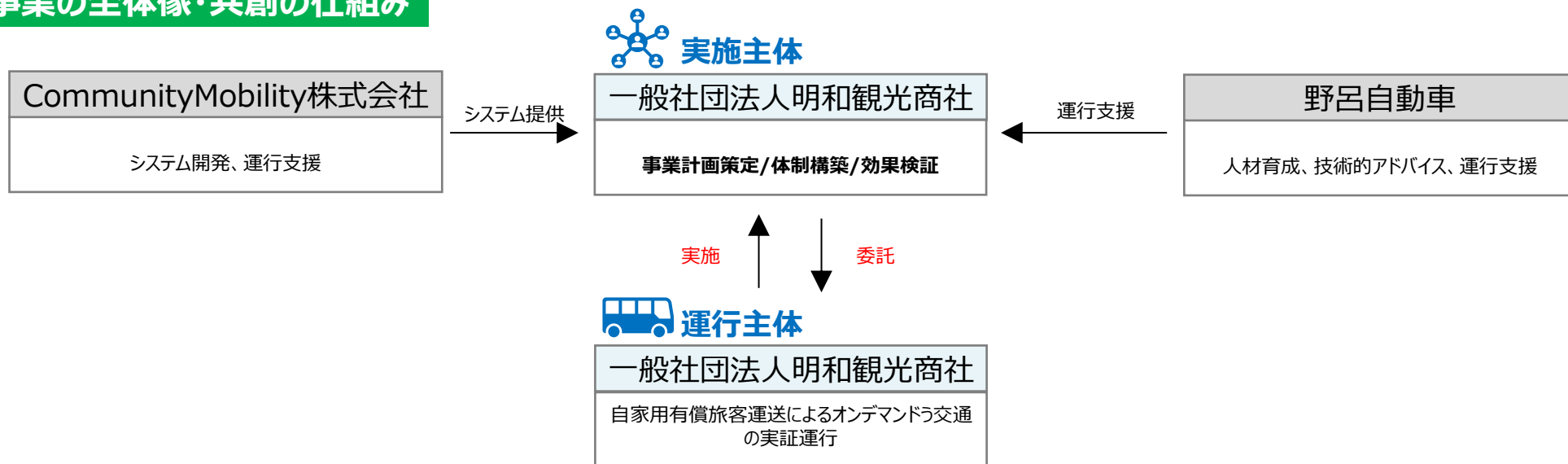
明和町では2022年8月から交通空白地帯の解消、高齢者や子育て世帯の移動の利便性向上のためにデマンド交通事業（めいわmobi）を行っているが、朝夕の利用時に需要が集中し予約が取れない（時間帯交通空白地）といった課題や、公共交通の運転手不足等の人材不足や労働環境の改善が課題となっており、需要に応じた運行体制および収益を確保する必要がある。本事業では多様な事業者との連携・共創によりこれらの課題を解決するために、自家用有償旅客運送の取り組みを実証事業として実施し、①利用しやすく、持続可能で、まちづくりと一体的な公共交通サービスの再構築に資する実証実験に取り組み、「利便性と持続可能性を両立した公共交通サービスの提供による、暮らしやすいまち」の実現を目指す。

(事業の概要)

時間帯交通空白地の解消と需給ギャップの解消に向けて、実証事業として以下の取組を行う。

- 1.【事業計画策定および持続可能な事業とするための体制構築に向けた検討】事業内容を検討/専門家のアドバイスも受けながら事業計画を策定/事業実施に向けて関係者との調整
- 2.【調査研究】実証事業の実施に必要な基礎データの収集および分析/新しい交通サービスの明和町内での導入可能性調査
- 3.【実証事業の実施】観光DMOである明和観光商社が、自家用有償旅客運送制度により、mobiのシステムを援用し、タクシードライバーではない地域住民が運行するめいわ版ライドシェア型デマンド交通を実証運行により実施し、課題解決に向けた調査・検討を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

定額制乗合タクシーのシステム提供と運営を行っているCommunity Mobility株式会社の運行データや運営ノウハウ、システムを援用し、運行事業者である野呂自動車の運行指導を仰ぎながら、観光DMOである一般社団法人明和観光商社が、自家用有償旅客運送を取得し、実証運行を行うことにより、観光地域づくりおよび地域の交通課題の解決に連携・協働して取り組む。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・タクシー配車アプリデータを活用して、タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定
- ・これに基づき、地域の自家用車・ドライバーを活用して、タクシー事業の一環として運送サービスを提供する
- ・時間帯による需要のミスマッチの解消
- ・域内周遊を促進する観光利用による輸送力不足の解消

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

2024年5月	事業計画策定	協議会関係者により協議
2024年6月	体制構築	実証運行に向けた要件整理体制構築
2024年7月	調査・分析	Community Mobility株式会社、明和観光商社
2024年9月	実証運行	システム構築・提供 (Community Mobility株式会社 運行指導 (野呂自動車) 自家用有償旅客運送による運行 (明和観光商社))
2025年1月	実施内容レビュー	事務局 (明和観光商社)
2025年2月	実施内容とりまとめ	事務局 (明和観光商社)
2025年2月28日	完了報告	事務局 (明和観光商社) ※提出期限2/28

(補助事業実施後の予定)

継続してデマンド交通の配車台数と人員を増やし、受給のミスマッチの解消を図る。オンデマンド交通の期間限定ラッピングや車内広告を可能とし、掲出料を徴収するなどの制度を整備することで、地域一体となった事業運営体制を構築する。本事業は、共創モデル実証運行事業終了後も、利用者数の増加と収益向上、費用削減、資金調達、多様な収益源の確保、収益構造の最適化、地域との連携、官民連携柔軟な運営などの施策を講じることで、財政的、運営的、地域貢献の側面において高い持続可能性を確保することが可能である。